

「AI・IOT を導入した医療・福祉に関する商品開発・管理」

ご挨拶

我が国をはじめとする先進諸国における高齢社会の進行は、医療・健康・福祉の環境をより充実した社会システムに変更することを要請しています。また、近年のAI・IOTの技術の進展はビッグデータの活用を可能にし、私たちのより身近な生活を支援・サポートするシステムが構築されつつあります。

このような現状を鑑み、本セミナー（令和元年6月22日）では、今後、さらに関心が高まると考えられますAI・IOTを活用した医療・健康・福祉に関わる商品開発・管理についての最新の研究成果を報告頂く場を設けさせて頂きました。

基調講演では、日本におけるAI研究の魁でいらっしゃいます竹林先生に「マルチモーダルAIとみんなの認知症情報学が拓くヘルスケアの未来」をテーマに高齢社会では避けては通れない認知症への新たな取り組みとその成果についてご講演頂きます。

また、特別講演Ⅰでは、青野先生に「介護業務の標準化にICTがもたらすものは」の取り組みについて、特別講演Ⅱでは、辻先生より「医療分野におけるICTでの商品開発のあり方」（仮題）、一般研究報告では、4名の研究者及び実務家から研究成果の報告をしていただく予定にしております。

ご多忙のこととは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

商品開発・管理学会附属センター長

プログラム

令和元年6月22日（土）

会場：神戸国際大学 2号館1階2103教室

受付 12:00～ 参加費 1,000円

12:40 開会の辞

12:50～13:50 基調講演

「マルチモーダルAIとみんなの認知症情報学が拓くヘルスケアの未来」
竹林 洋一（静岡大学 創造科学技術大学院 特任教授）

13:50～14:30 特別講演Ⅰ

「介護業務の標準化にICTがもたらすものは」
青野 桂子（青野桂子事務所 代表）

14:30～15:10 特別講演Ⅱ

「医療分野におけるICT・AIを用いた商品開発：IoHTの提案」
辻 正次（神戸国際大学 経済学部 教授）

15:10~15:30 インターミッション (休憩)

15:30~15:50 研究報告 ①

「イタリアにおける医療機器のデザイン・プロジェクト」

小山 太郎 (中部大学 工学部 講師)

15:50~16:10 研究報告 ②

「ファッションにおけるユニバーサルの理想と現実」

ーなぜアパレルは高齢化対応できないのかー

前野 いずみ (名美アパレル株式会社 代表取締役)

16:10~16:30 研究報告 ③

「医療とITの最新動向とリハビリにVRを活用したプロジェクトの状況報告」

土肥 豊和 (株式会社 ワイドソフトデザイン 代表取締役)

16:30~16:50 研究報告 ④

「高齢化社会に向けて、鉄腕アトムのコミュニケーションロボット

「ATOM」のできること」

奈良原敦子 (講談社第四事業局次長 兼

「ATOMプロジェクト」統括マネージャー)

17:00 閉会の辞

18:30~ 情報交換会 三宮「我流」 5,000円



参加費：セミナー参加費 (1,000円)、懇親会 (5,000円)

参加申込み：氏名、所属、連絡先 (電話、または E-Mail)、懇親会参加の有無を明記し、E-Mailまたは FAX 申込書で6月14日 (金) までをお願いします。

送付先 : 木戸啓仁 (近畿大学)

E-Mail : kido@waka.kindai.ac.jp、FAX : 0736-77-4754

F A X 申 込 書

令和元年度商品開発・管理学会 (付) 研究所「公開セミナー」

—令和元年6月22日(土)開催—

参加申込書

締め切り：6月14日(金)

会社・所属団体名	
部 署	
氏 名	
電話、またはE-Mail	
複数名参加の場合は、 氏名のみお書き下さい	
懇親会参加の有無	1. 参加します 参加人数： 人 2. 参加しません